



# 春日小だより

令和8年1月8日  
練馬区立春日小学校  
校長 後藤 京子  
学校通信1月号

## E S Dを身近に

校長 後藤 京子

新年あけましておめでとうございます。

新年を迎え、久しぶりに子どもたちが元気な顔で登校してきました。「おはようございます。」元気な声から、冬休み、家族の皆様と楽しい正月を過ごせたことが伝わってきました。子どもたちとともに皆様にとりまして、希望に満ちた充実した年になることを願っております。

今年は午年。馬は、知能が高く、社会性の強い動物で、野生のものも家畜も群れをなす傾向があると言われています。また、イメージ通り、「速さ」「情熱」「自由」を表すとされています。つまり、「積極的に行動する年」「情熱ややる気をもって取り組む年」「新しいことにチャレンジする年」ということがいえます。

本校は、今年度、「今や未来を自分事として考えられる児童の育成～E S Dの視点に立った主体的・協働的な学びを通して～」を主題に研究に取り組んでいます。まず、世界・日本各地で起こっている環境、貧困、人権、平和などの課題を、知ること。次に、遠くの世界で起きていることに、他人事としてではなく、一人一人がこれらの問題を自らの問題として捉えること。そして、そこから持続可能な社会を実現するために、子どもたち一人一人が、どのような取組が必要か、自分にできることを考え、行動を起こすことができるようにする学習を進めてきました。昨年度は全教科、領域で取り組みました。今年度は、生活科と総合的な学習の時間で取り組んでいます。

今年度、学校の中期的な目標として、

「実社会の課題から主体的に学習に取り組める子」

「自分を大切にし、まわりのすべての人と環境にやさしくできる子」

「地域の人とすすんでかわり、ねばり強く問題解決を図ることができる子」

「SDG sの実現に努力し、自ら行動できる子」を目指す児童像に掲げました。

令和8年2月20日、練馬区の教育委員会教育課題研究指定校の発表を迎えます。地域に出て、春日町の町が、練馬区の町が優しい町になっているかフィールドワークを行ったり、練馬大根を種から愛情深く育て、この伝統をどのようにつなげていくかを考えたり、自分が将来の夢として考えられている職業を通して、SDG sにどのように取り組むかを想像したり、主体的に学習に取り組む姿は生き生きとしています。全保護者の方には発表当日の授業はご覧いただけませんが、お伝えしていきたいと考えています。